

令和7年度「学術交流協定校との国際シンポジウム開催支援事業」報告書
 “Grant for International Symposium with Academic Partner University in FY 2024” Report Form

2026年 1月 7日

実施責任者 職・氏名 Responsible faculty member(Title, Name)	教授 佐藤敏文			
シンポジウム名 Symposium title	Hokkaido University – National Taiwan University of Science and Technology Joint Science Symposium 2025			
実施期間 Date, Time	2025年6月16日(月)～6月19日(木)			
シンポジウムの具体的な開催内容 Describe the contents of the symposium	6月16日 18:00- ウェルカムレセプション 6月17日 9:30-16:00 ジョイントシンポジウム (招待講演、学生招待講演) 6月17日 18:00- 懇親会 6月18日 10:00- 電子科学研究所見学 6月19日 10:00- キャンパスツアー・工学研究院見学			
出席者数 Number of Participants	合計/Total 36名 人/Participants			
	内訳/Details			
	人数/ Number of Participants	身分/Status	国/Country	所属機関名/University Name
	3名	教員	台湾	国立台湾科技大学工学院
	5名	大学院生	台湾	国立台湾科技大学工学院
	7名	教員	日本	北海道大学
	21名	学部生・大学院生	日本	北海道大学
シンポジウム開催による成果 Outcome	2025年6月16日(月)～6月19日(木)にかけて、フロンティア応用科学研究棟にて国立台湾科技大学工学院とのジョイントシンポジウムを行った。16日は夕刻にウェルカムレセプションを開催し、教員および学生間の交流を行った。17日のジョイントシンポジウムでは、国立台湾科技大学から教員2名と北海道大学から教員2名の合計4名の招待講演を行った。また、国立台湾科技大学から博士課程学生4名と北海道大学から博士後期課程学生4名の合計8名の口頭発表も行っていただき、両校各一名ずつに優秀講演賞を授与した。18日は電子科学研究所見学、19日はキャンパスツアーおよび研究室訪問を行った。今回のジョイントシンポジウムを通じて、部局間協定校である国立台湾科技大学との研究・教育における教員・学生間の交流をさらに深めた。			
今後の共同研究に向けた展望と課題 Future prospects and issues towards research collaboration	北海道大学の教員および関連教員・大学院生に英語での研究発表の機会を提供することで、国際化が促進された。また、国立台湾科技大学工学院との国際交流が深まり、新たな共同研究や学生交流等が期待できる。			
その他 (本事業の要望等) Comment for the grant	使用用途の拡大もあり、非常に助かりました。北大の国際化のため、来年度以降も継続していただきたい。			



Hokkaido University – National Taiwan University of Science and Technology Joint Science Symposium 2025 開催時の集合写真